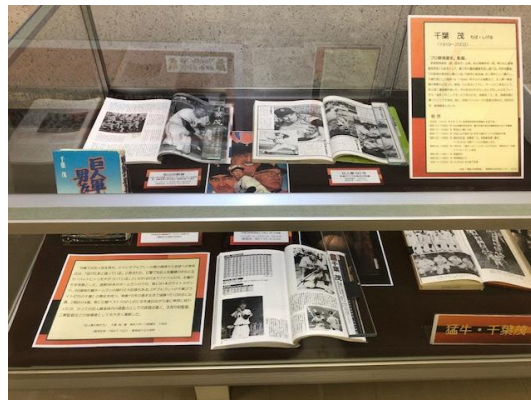


実施状況報告

事業名	えひめ愛・野球博文化プログラム事業 えひめ資料室ロビー展「生誕 100 年 猛牛・千葉茂と野球文化」
実施主体名	愛媛県立図書館
日時	令和元年 11 月 1 日(金)～令和 2 年 2 月 27 日(木)
場所	愛媛県立図書館 4階 えひめ資料室ロビー
参加者	

東京巨人軍で好守好打の二塁手として戦前から戦後にわたり活躍し、1980 年に野球殿堂入りを果たした西条市出身の千葉茂。引退後監督を務めた「近鉄バファロー」の名称は、千葉のニックネーム、「猛牛」から付けられました。球団の「猛牛マーク」は千葉の友人、岡本太郎のデザインです。また、長嶋茂雄に背番号「3」を託したことで知られています。

愛媛県が 2018 年度から 2020 年度にわたって開催する「えひめ愛・野球博」の文化プログラム事業として、今年、生誕 100 周年を迎える千葉氏の野球人生を、その著書や関連資料などで振り返るとともに、あわせて「野球の聖地」愛媛における野球文化の広がりや、活字資料で紹介します。



実施状況報告

事業名	読書ボランティア等スキルアップ講座(第1回)
実施主体名	愛媛県立図書館
日時	令和元年 11 月 21 日(木)14:00～15:40
場所	愛媛県立図書館
参加者	読書ボランティアとしてスキルアップを図りたい県民(39 名)

子どもの読書活動の推進に大きな役割を果たす存在である読書ボランティアの方のスキルアップを目的に、今年度から新たに口座を開始しました。第 1 回目は、「ストーリーテリングについて、その意義と実際」と題して、安田女子大学非常勤講師の小林いづみ氏による講座を実施しました。

実演の後、ストーリーテリングについて詳しく解説していただきました。耳から聞く文学として聞き手と直接向かい合ってお話を届けることの意義、語るのによりお話の選び方、語る時のポイントなど、わかりやすく楽しい講座でした。

参加者からは、貴重なお話を聞けてよかった、自分も始めてみたいなどの声が寄せられました。



実施状況報告

事業名	古文書解読講座
実施主体名	愛媛古文書研究会、愛媛県立図書館
日時	令和元年 11 月 24 日(日)10:00～12:00
場所	愛媛県立図書館多目的ホール
参加者	受講生

古文書解読講座は、昭和 51 年から続く歴史ある講座です。毎月第4日曜日(3月は第3日曜日)に県立図書館5階の多目的ホールで開催しています。

11 月の講師は伊予史談会常任委員の門田恭一郎氏で、解読資料は前年度に続き江島為信(えじま・ためのぶ)の『身の鏡』を使用しました。江島為信は江戸時代前期に今治藩の家老を務め、文才にも長じていた人物です。

配布テキストに沿った丁寧な解説に、受講生の皆さんは熱心に聴き入っていました。見学希望を含め、参加者は 96 名でした。

